



小さなツバメの大きな夢

Sport Festivalに向けたダンス練習が始まりました。
(先生たちもみんな踊っていたので残念ながらダンスの写真はとれませんでした・・・)

今年のダンスは、Yoasobiさんの「ツバメ」です。

▶ [あおきいろ] 【ツバメ】 ダンスミュージックビデオ フルver. YOASOBI with ミ...

色々と考えた結果、以下の理由からツバメにしました。

①簡単なステップがあること

2年生のソーラン節では、みんなでそろえて大きな動きで踊ることをがんばりました。ソーラン節にはほとんどステップがなかったので、3年生ではリズムに合わせることで、簡単なステップで踊れることを目指しました。

3年生でリズムに合わせてステップを踏めるようになり、学年が上がるにつれて、速いテンポや難しいステップで踊れることを目指しています。

②グループで踊る箇所があること

先生と一緒にみんなで練習するだけでなく、グループで協働的に練習に取り組む場面をもちたいと思いました。

ツバメダンスには、イントロと間奏部分でグループで演技する部分があります。みんなで協力しながら、楽しく練習していくことで、自主性や主体性を育てていきたいです。

③曲のテーマがよいこと

「ツバメ」は、中学3年生の子が作った物語から書き下ろされた曲です。その物語が、SDGs「共に生きる」をテーマにしており、ここまでプロジェクトでSDGsについて学習してきた3年生にぴったりの曲だと思いました。

(ツバメ制作の詳細はこちら<https://cocotame.jp/series/038583/>)

今週の国語図書の時間に、ツバメの基になった物語「小さなツバメの大きな夢」を、司書の田邊先生に読んでもらいました。

読み終わった後、子どもたちは、「優しい物語だった」「ツバメに会いたくなった」と思い思いの感想を教えてくださいました。

また、最後に歌詞と共にツバメの楽曲を聞くと、「あっ！あそこのことだ！」「そういうことだったんだ！」と、物語と歌詞の繋がりに気付いて嬉しそうな声をあげていました。

私も一度読んでいたのですが、改めて読んでみると物語とダンスの振付にも深いつながりがあることに気付きました。

特にハートを描きながら笑顔でポーズをするところは、物語のクライマックスを象徴していて、とても素敵だなと感じました。



【司書の田邊先生は朗読上手です】

(原文は↓こちらです。5分ほどで読めるのでぜひお読みください。)

[「小さなツバメの大きな夢」](#)

「小さなツバメの大きな夢」を読んだからか、ダンス練習はみんなとても意欲的でした。きっと本番も素敵な演技をしてくれると思いますので、楽しみにしてください。